

タイトル

情報電子工学系学科 複雑数理モデル研究室
おなまえ かいてね

—年—月—日

目次

第 1 章	はじめに	5
1.1	背景	5
	参考文献	6
	付録	7
付録 A	付録とは	7
A.1	サブセクション	7
付録 B	画像	8
付録 C	表	9
付録 D	fverbatim の例	10

図 目 次

1.1	XXXX の画像	8
1.2	コマンド手順 1	10

表 目 次

1.1 XXXX の表	9
-----------------------	---

概要

これは概要である。chapter*とすることで章番号をつけることなく見出しにすることができる。必要に応じて使うが、概要と付録にしか使わない。

付録か過去のもをそのまま使用している。必要に応じて参考にする。なお、ページ番号等目次の反映にはコンパイルが2回必要なことが多いことに注意する。

第1章 はじめに

1.1 背景

この文章は論文テンプレートである．作成者は大園 章宏（15024025/19043014）なので何かあれば適当に wiki の個人ページをのぞくと良いが，特に有益な情報は載せていないことに注意したい．論文の構成は書いた後に入れ替えることが多いため，各項目を input する形で使用したい．

参考文献

- [1] 浅田稔, 國吉康夫, ロボットインテリジェンス, (2006)

付録 A 付録とは

付録とは本や雑誌などについてくるおまけのようなもののことである.

A.1 サブセクション

サブセクションも使えると考えれる。

付録 B 画像

画像（がぞう）は、2次元平面上に描かれた絵を指す。画像には静止画（静止画像）と動画（動画像）とがあるが動画像は映像と呼ばれることが多く、この項目では静止画像について記述する。コンピュータ上の静止画像はデジタルカメラの写真や、コンピュータグラフィックスなどから生成されたものがあり、自動的、半自動的な画像処理や画像認識に向くという特徴がある。

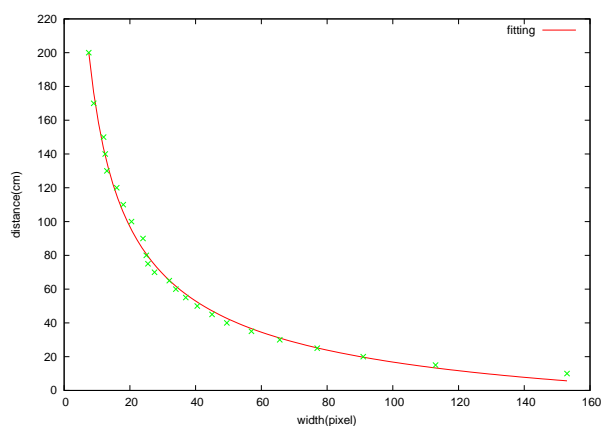


図 1.1: XXXX の画像

付録 C 表

表は、ビジュアルコミュニケーションの一形態であり、データを並べる手段である。テーブルはコミュニケーション、研究、データ解析など様々な分野で使われている。印刷物、手書きのノート、コンピュータソフトウェア、建築装飾、交通標識など様々なところでテーブルを見つけることができる。

表 1.1: XXXX の表

主翼幅	880[mm]
主翼面積	1325[cm ²]
平均翼弦	150[mm]
水平尾翼面積	267[cm ²]
モーメントアーム長	500[mm]
水平尾翼容積	0.67[-]
重心位置	75[mm] (平均翼弦の 50%)
機長	840[mm]
機体重量 (バッテリー含む)	470[g]

付録 D fverbatim の例

fverbatim を figure で囲むことで図として扱っている.

```
◎ [armadillo300 ~]# fdisk /dev/hda
hda: hda1
◎ Command (m for help): d
Selected partition 1
◎ Command (m for help): n
Command action
  e extended
  p primary partition (1-4)
◎ p
```

図 1.2: コマンド手順 1